

④「航空写真地番図システム設定での効果的な土地現況の把握及び家屋、償却との連携」

加西市市民部税務課 課長補佐 神戸 克則
主事補 毛勝 龍斗

1 はじめに

兵庫県加西市は人口41,244人、姫路市の東北に位置するアラジンのトースター、ストーブ、神戸牛等で、ふるさと納税が令和5年度兵庫県第1位約63億円（現税務課長担当時）の大変魅力的な市です。

自分（神戸）は過去に生活保護業務を7年担当し、生活保護返還金で実績を上げ、ジチタイワークス（H29.2）で取り上げていただきました。今回も自分に出たアイデアを共有することで全国の固定資産税担当者様と前進したいと思います。

2 やる気と感謝で最強のチーム

過去の課税漏れの対応は、固定資産税担当職員にとっては、お客様の反発の大きい仕事となる場合があります。一方でこの反発の大きい難しい仕事をする事で、脱税状態にある現状を解消するという税の公平性を実現することができ、お客様の法令順守の促進、将来の固定資産税担当者の負担軽減、自分の成長につながります。課税漏れがあった場合、詮索して時間を浪費するより（会議をしても短時間にする）、発見から一直線でスピードを上げて連絡を取り、現場に向かっていると、バリバリ経験が積めます。

自分から感謝の言葉を連発し、自分と同僚を褒めて自己肯定感を高めていると、笑顔も多くなり困難な仕事も楽しくなって、自然と最強のチームが出来上がり、予想を遥かに上回る結果を実現できました。

3 業務効率・無から有のアイデア

法務局の異動通知を書き写す市の土地台帳を廃止、地番図をネット公開、償却資産申告のQRコード化、100万円以下の償却資産の場合は増減なしの申告を不要とし、家屋平面図作成の委託で効率的な業務となるように取り組む等、本来の課税業務を強化しました。

今回のアイデアは航空写真地番図システムの保守範囲内の無料の設定変更で国際航業㈱にいただきました。無料でできることを探し、より多くの成果を上げることは、最高のアイデアかもしれません。

4 効果的なシステム設定変更

税務課への連絡が無い地目変更が相当数あり、法令通りの手続きを経ていない場合や年数がかかり経過してしまっている地目変更などは、通常の法務局、農業委員会、建築確認申請等からの土地の地目変更と税務システムの処理だけでは、必ず漏れが出てきてしまいます。課税地目変更の漏れの解消には、航空写真をきめ細かく見ていくしかチェックのしようがなく、現実的に時間がかかるためできないかもしれません。この時間短縮のために、次の航空写真を使った手法がかなり有効です。

航空写真地番図システムで宅地、雑種地以外の地目に半透明の色を塗る設定変更をします。こうすることで、田、畑、山林等に建物が建っているところ、太陽光発電・資材置き場などの雑種地に変更になっている箇所が、一目瞭然でわかります。雑種地も色塗りをし、建物が建っていないかも確認をしました。加西市の市域は広くても山が多く1～2週間程度で全地区を見ることができました。また、色を塗られた課税分割の土地も宅地、雑種地が広がっていないか見直しました。

色塗りの箇所でも償却資産の申告がない場合は償却資産の案内もしました。

5 家屋平面図、土地・家屋と償却資産の突合

法人の家屋平面図と航空写真地番図システムの照合でも一定の成果はありました。

また、固定資産税の法人の納税通知送達名簿のエクセルと償却資産の法人名簿のエクセルをVLOOK関数で照合します。この結果、土地、家屋は持っているが償却資産の課税の無い法人が洗い出されますので、必要に応じ償却資産申告書を送付します。

償却資産は、法人市民税、所得税の経費との照合もしています。

6 最後に

近隣市、FACEBOOK オンライン市役所の固定資産税担当者は精通されている熱心な担当者が多く、いつも教えていただいていることに感謝しています。

今回発表した実績は、私自身の努力はわずかで、毛勝さん等同僚・前任者・仲間の協力をうまく得ることができたこと、良いひらめきがあったことや運が良かったことによるものが多かったです。すばらしい仲間にも囲まれて仕事ができることに感謝しています。